

「人材開発支援助成金」の活用例⑥

地場産業の生産性向上を目的とした人材育成への活用

業務改善を実行しコストの削減と業務に応じた人材の確保を実現した企業が、更なる生産性の向上を実現するため、企業内の人材育成に「人材開発支援助成金」を活用できる事例を紹介します。

地場産業が抱える課題

- **不安定で厳しい経営環境**
自然災害等のリスク、肥料、重油などの高騰により経営が左右される。
- **変化に対応するための人材の不足**
地場産業という古めかしいイメージ等により、**未経験の若年層が求人応募が少ない**。ネット通販での購入が増加しているほか、海外需要の増加、インバウンド、消費者ニーズの多様化など新たな需要が発生しているが、**消費市場の変化に対応、語学や新しい需要へのアイデアを実現できる人材が不足**。

課題解決に向けた業務改善

- ネット通販、ECサイトの運営を営業活動に取り入れることで**自販率を向上させ、市場取引と比べ有利な販売を実践**。
- 地場産業という古めかしいイメージを脱却するために、SNSを活用した販路を開拓し、それに対応できる若年人材の確保につながるように、**労働時間・休日の規定を見直し、若年層に受け入れられやすい労働環境を整備**。
- 海外市場に対応できる人材育成のために、**企業が講習費用を負担し、語学講習を受講させた**。また、一定の**技能や資格に手当を支払う制度を導入**。

コスト削減と業務に応じた人材の確保

- 通販、ECサイトの運営を営業活動に取り入れたことにより、**自販率の増加、卸し・運送コストの削減**を実現。
- 労働環境を整えたことで**若年人材を採用が増加**。また**人材育成**したことで、社内人材によるSNSを活用した販促やECサイトの運営を実現。
- 海外市場の取引が増加に対応する語学の**資格手当の支払いを規定**したことにより、社内で**自発的に語学を学びたい従業員が増加し、人材不足を解消**。

人材開発支援助成金の活用方法

「人材開発支援助成金」は、事業主が従業員に対して職務に関連した訓練を実施した場合に、**訓練経費や訓練期間中の賃金の一部などを助成**しています。

上記の取り組みでは、新規採用した若年人材などを対象に、業務に必要な知識を・技術を身につけることを目的とした研修を実施する場合に、助成金を活用することができます。

<助成金活用のメリット>

- **助成金を活用して人材育成を行うと、研修等の費用負担を抑えることができます**。
- 研修を受講した従業員は、スムーズに業務に取り掛かることができ、業務内容に応じたスキルを習得した人材を育成することで、生産性の維持・向上も見込まれます。

